

財務の概要

令和6年度は、経常収支差額で5億9千4百万円の収入超過を見込み、2年続いた赤字状態からの脱却を目指し、全学的に経費の見直しや収益の確保に取り組み、健全な財務運営を目指して努力を重ねてまいりました。

元理事長の背任行為、令和7年1月には元理事長らが背任罪で逮捕・起訴され、ガバナンスが機能不全となっていること、および寄附金の収受に絡んだ推薦入試を実施し、入学者選抜の公正性を欠いていることを理由として私立大学等経常費補助金が不交付となったこと、さらには人員不足等で利用できる病床に制限が掛かっていることが影響し、大幅な改善に至りませんでした。私立大学等経常費補助金の不交付は本学の経営に甚大な影響を及ぼし、医療収益の減少も重なって、収入面での想定を大きく下回る結果となり、教育活動収入は予算に対し130億2千6百万円の未達となりました。

支出に関しては、近年の社会情勢の変化を背景とした物価高騰や光熱費の上昇により、コストは年々増加傾向にあります。また、一連の不祥事に関する新聞報道を受け、第三者委員会を設置したことによる想定以上の支出が発生し、経費削減の努力が十分に実を結ばなかったことも否めません。

以上のことから、基本金組入前収支差額は予算を89億8千2百万円下回る81億1千9百万円の支出超過となりました。

今回の反省を踏まえ、改善計画を着実に進めることで本学に対する信頼を回復するとともに、財務健全化のための学内横断的タスクフォースを立ち上げ、早期に黒字化となるよう財務改善計画の着実に進めてまいります。今後は透明性のある情報発信と内部統制の強化に努め、学内外からの信頼回復に全力を尽くしてまいります。